

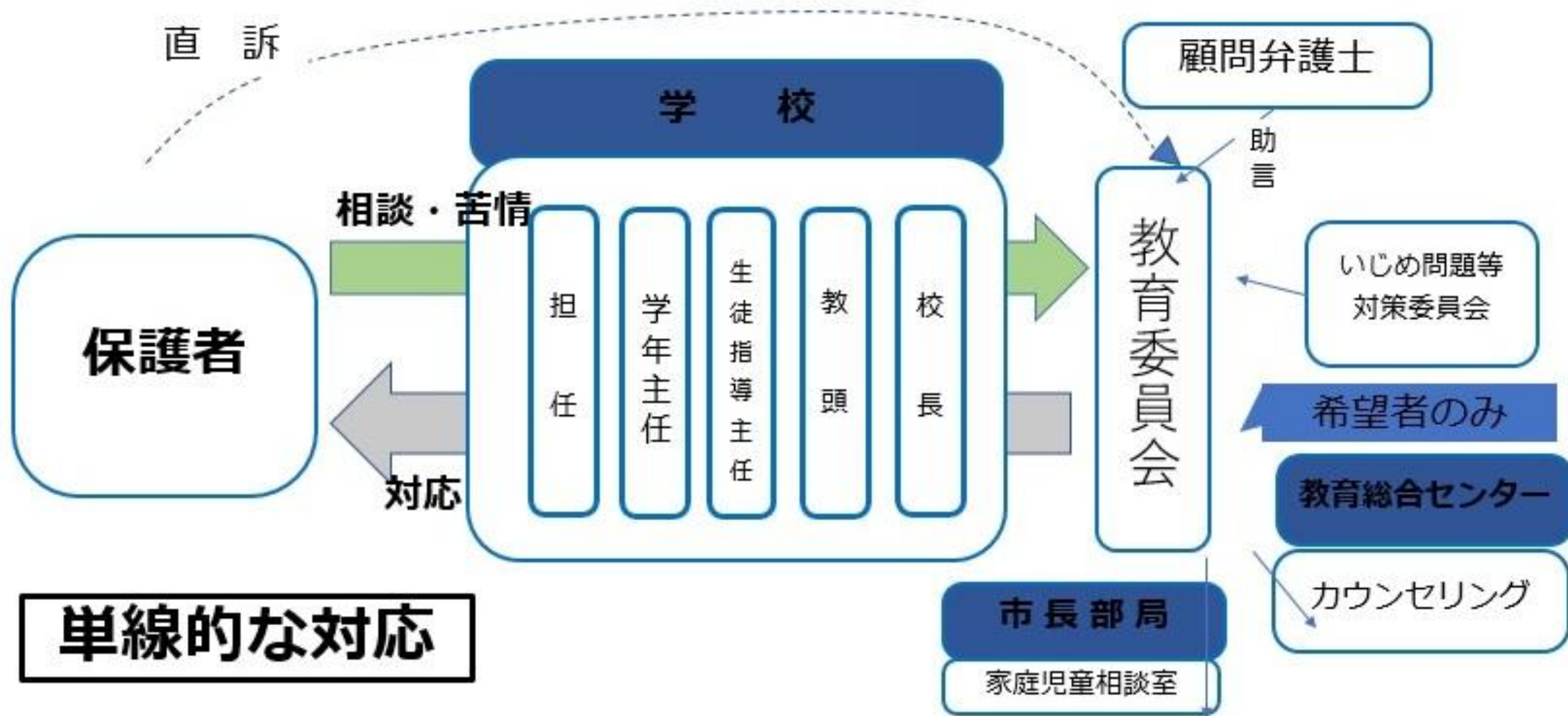
天理市の チームによるいじめ対応

天理市教育委員会事務局
天理市教育総合センター

綿谷 圭介 中尾 俊夫

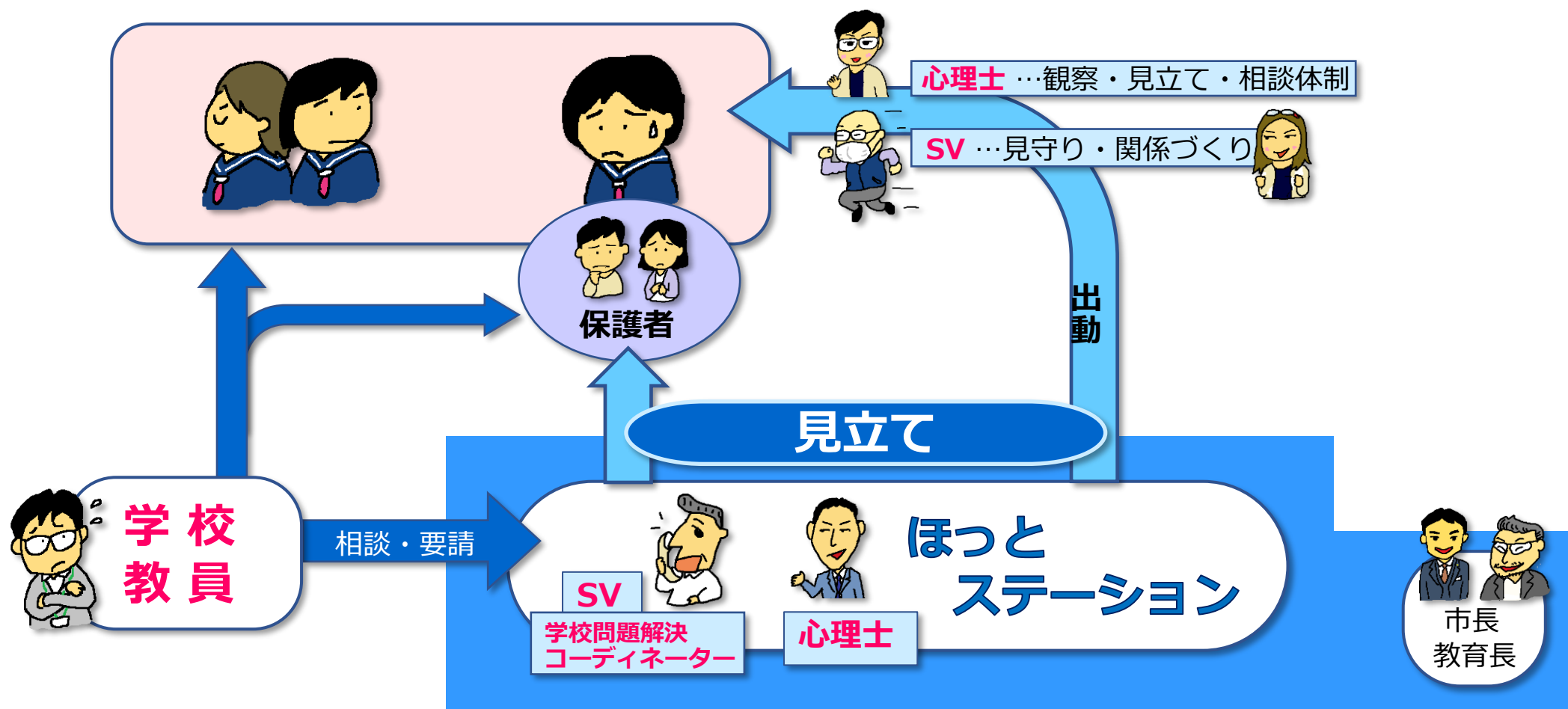


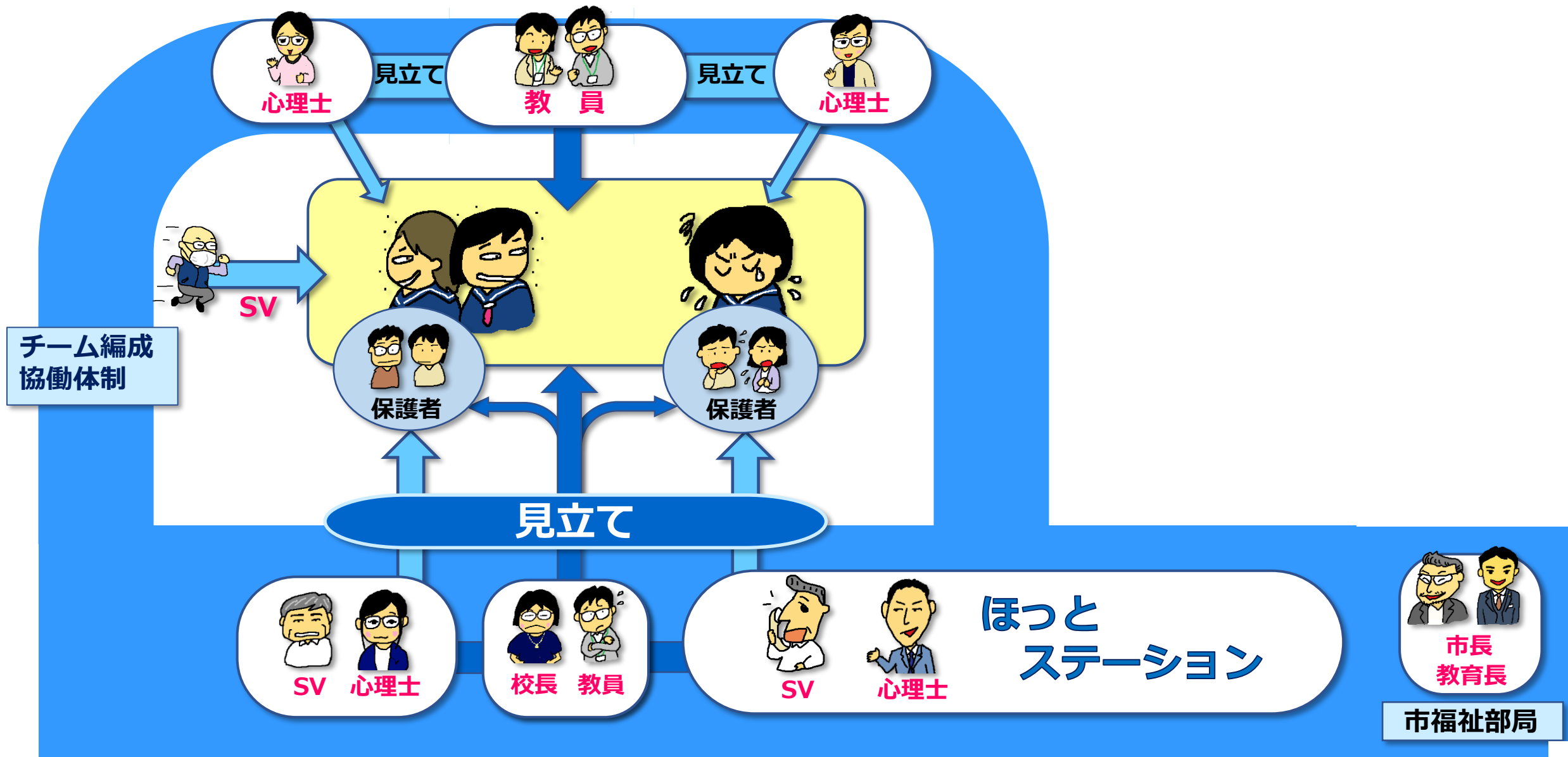
これまでの保護者対応

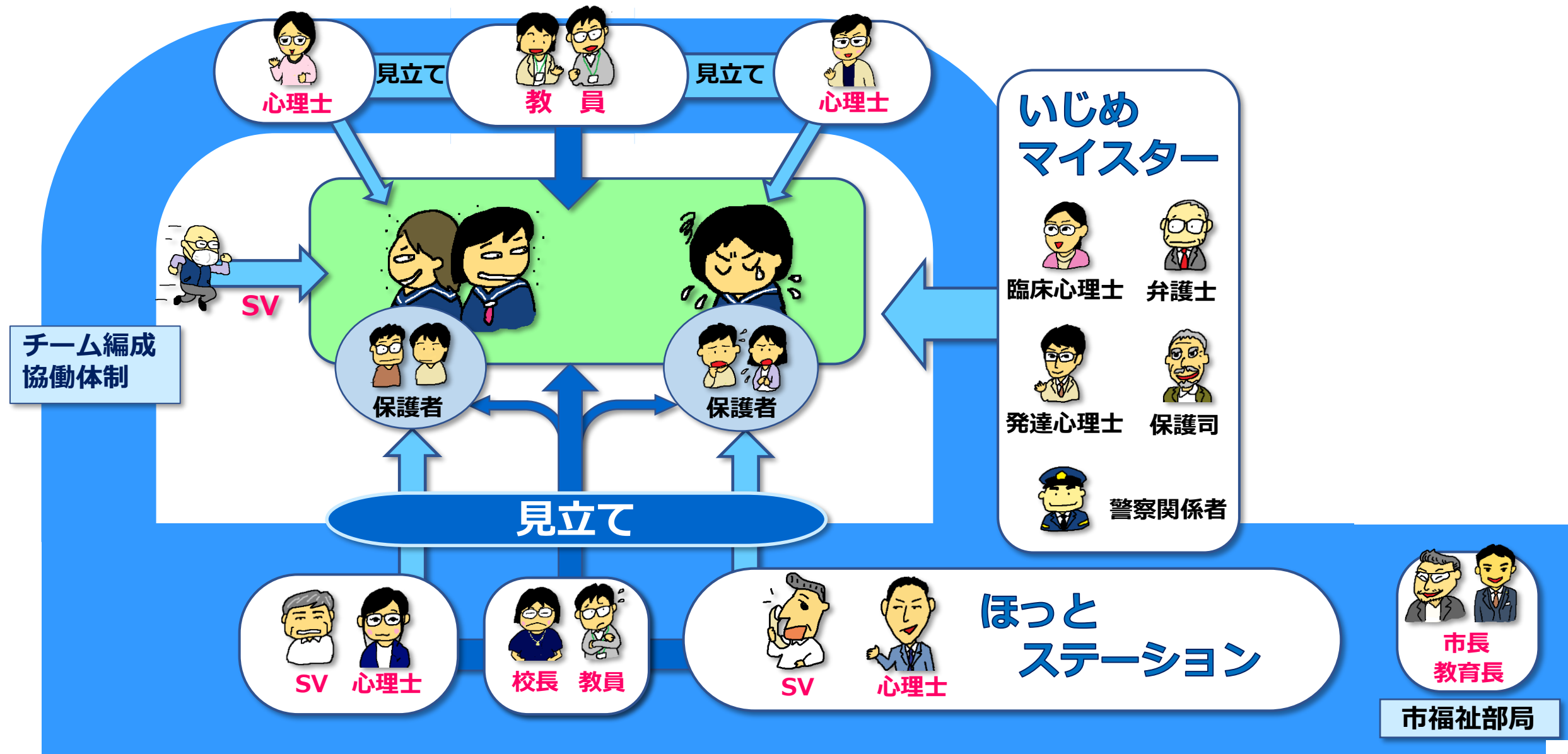


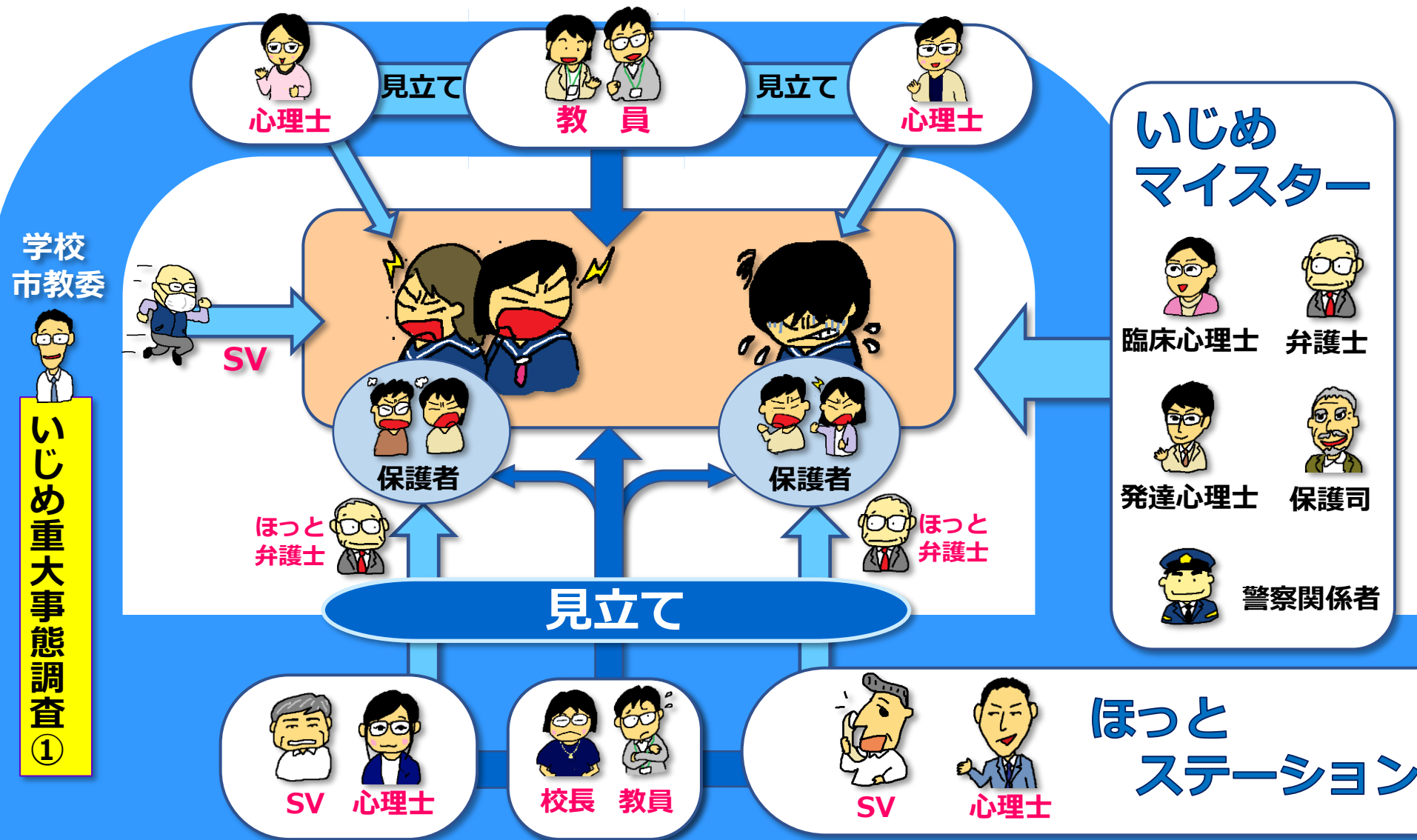
天理市のチームによる対応







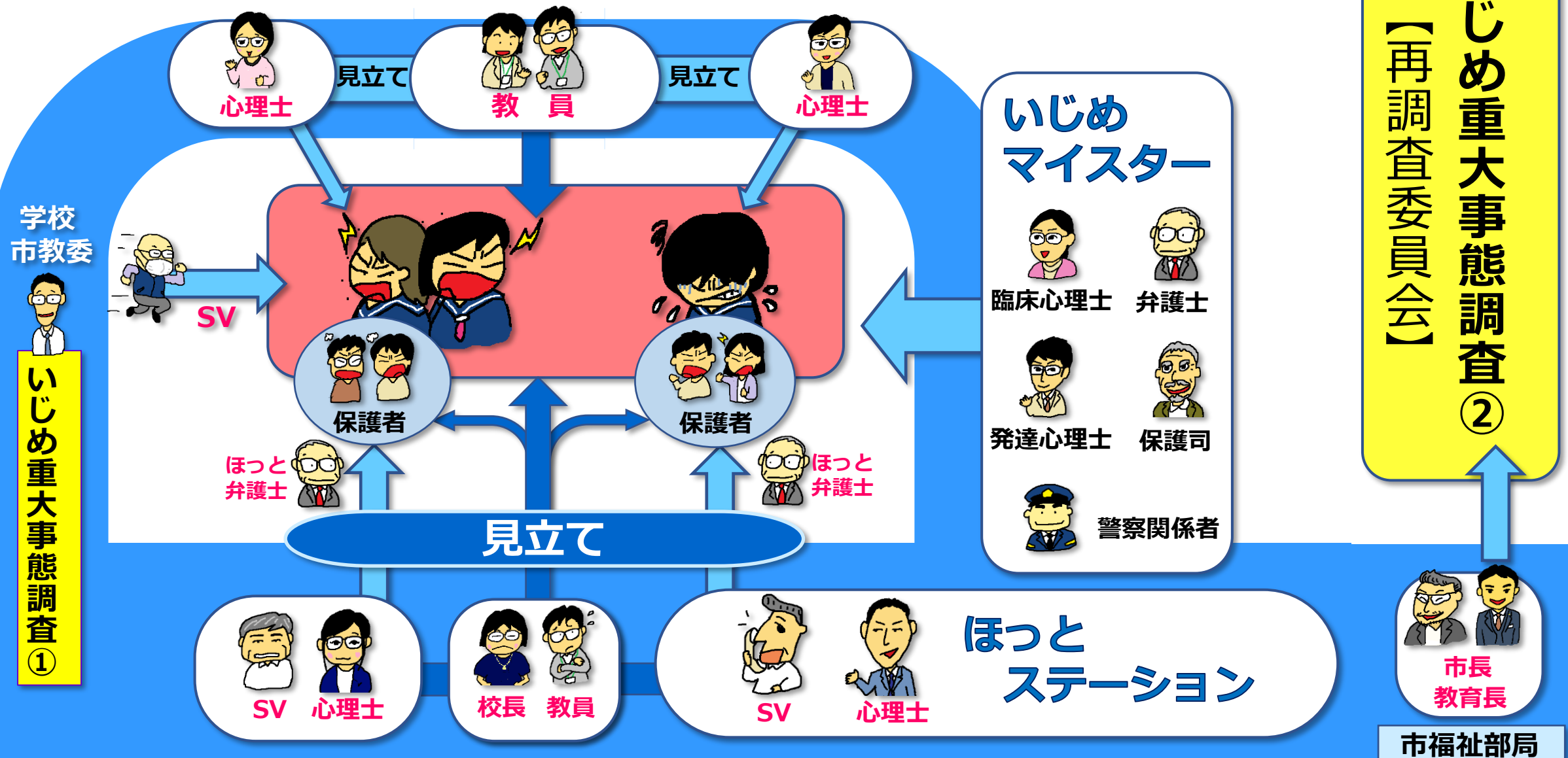


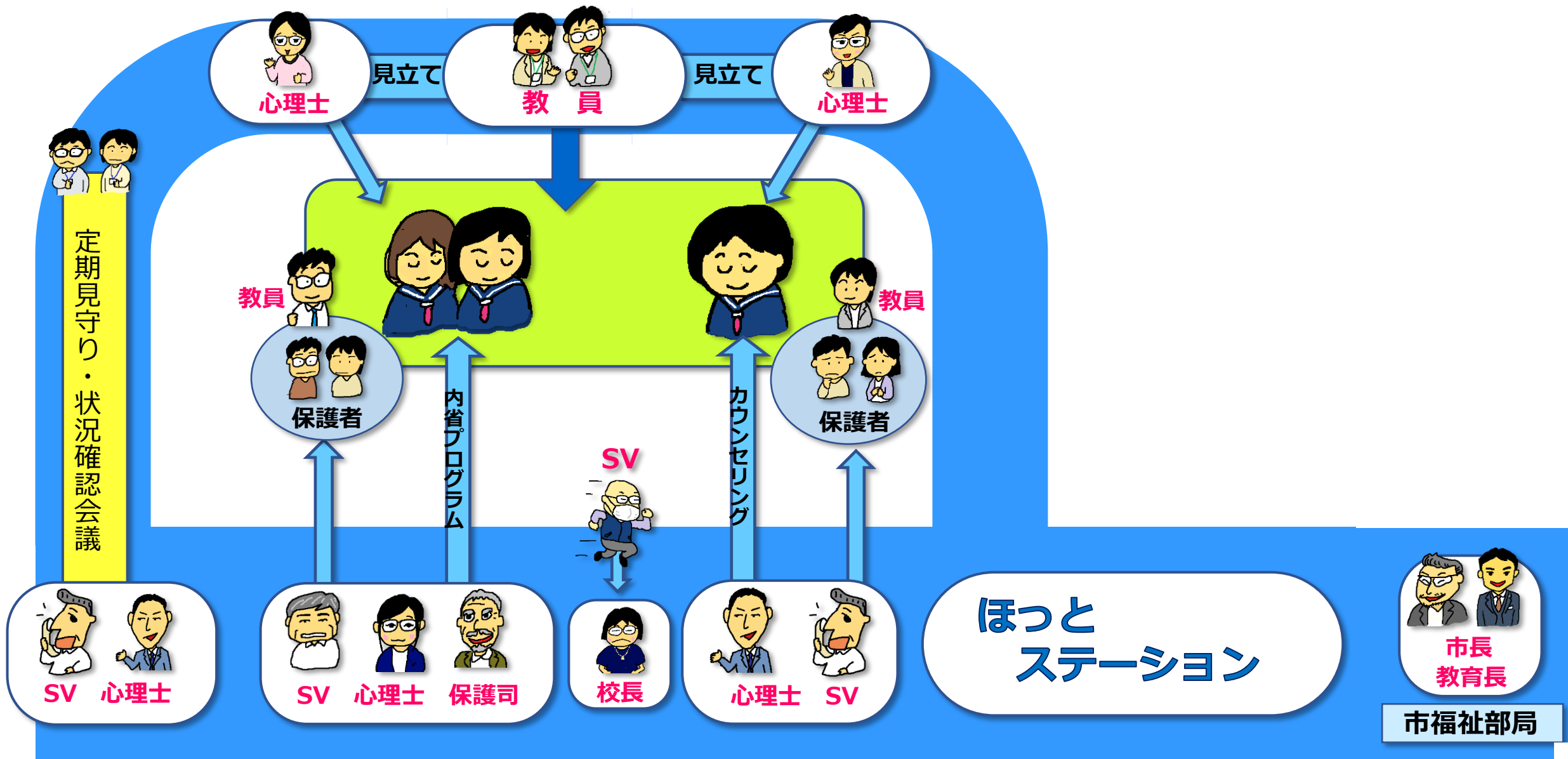


いじめ重大事態調査①

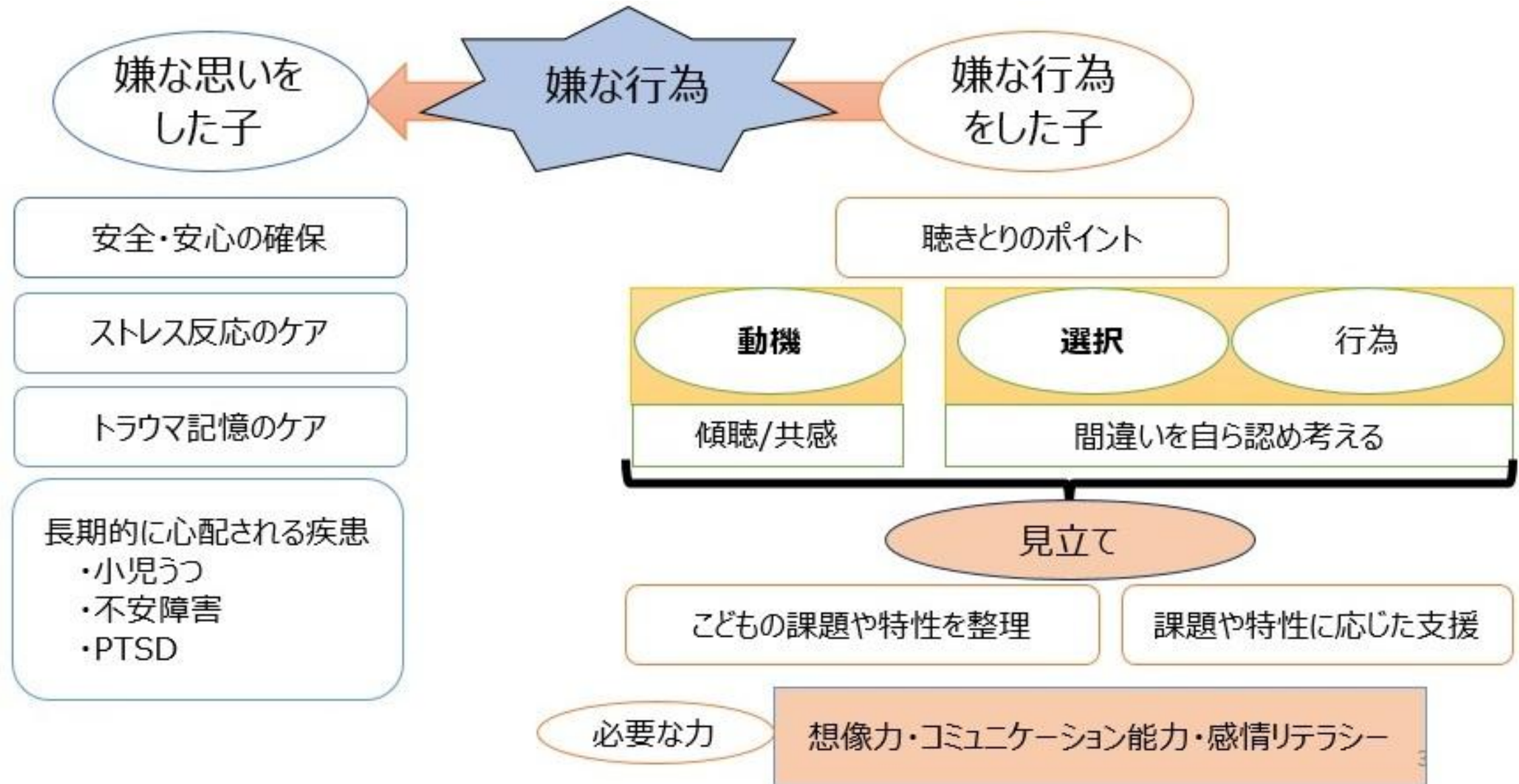
天理市のいじめ対応

⑤ いじめ重大事態-2

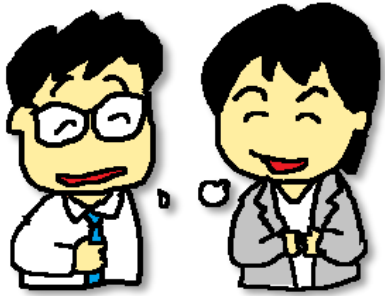




こども同士のトラブルへの心理士の対応

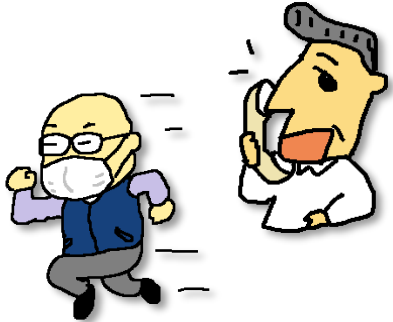


教員の声



- ◆【校長】今回の対応は、学校だけではできなかった。
(聞き取り・説明時の役割分担、弁護士による法的な対応、見守り・相談体制、内省プログラムの実施、警察や児相とのスムーズな連携、等)
- ◆定期的な状況確認会議や、日々の見守り・相談状況の共有により、こどもの現状把握と、こどもに対する理解が深まった。
- ◆こどもの心情や発達などにかかわる心理士の見立てや、経験豊富なスーパーバイザーから教わったことを、実際の指導に活かすことができ、教室の雰囲気改善された。
- ◆聞き出せなかった保護者の本音や背景について、知ることができた。
- ◆担当するスーパーバイザーが情報共有しながら進めてくれるので、報告や相談の際に対応がスムーズになった。その後の様子も気にかけてもらえる。
- ◆保護者対応に同席してもらえて心強かった。学校が言いたいけど言えなかったことを、第三者的立場から言ってもらえて助かった。
- ◆学校への無理な要望についても、「する／しない」を整理して毅然と伝えてくれる。
- ◆日々の努力を認めてもらい、自信につながった。心折れそうな教員の心の安定が、こどもにつながっている。など

ほっとステーションの対応件数（いじめ事案含む）



	令和6年度	令和7年度
対応ケース数	232件	181件
のべ対応回数	456回	579件
現場対応回数	274回	359回



ひとつのケースにかける対応回数の増加 +
現場への出勤と直接対応、見守りや相談体制の強化、未然防止的な動き

↓
対応ケース数は減少

教員の働き方



天理市小中学校 時間外勤務時間（1人あたり年間平均）
令和5年度 **34.9時間** ➡ 令和7年度 **26.7時間**

令和5年度 休職**8名**・退職**6名** ➡ 令和7年度 休職**1名**・退職**2名**
（保護者対応による休職・退職はゼロ）